

# 東の風



やさしく  
かしこく  
たくましく

学校教育目標：心豊かで自ら学びたくましく生きる子どもの育成

## まもなく「立春」。。。。まだまだ寒さが続きますね。

昨夜は皆既月食。スーパーブルーブラッドムーンでしたが天気が悪く残念ながら見えませんでしたね。さて、今年の『立春』は2月4日(日)。従って、その前日になる節分は2月3日(土)です。節分とは文字通り「季節の節目、区切り」ですので、暦の上では、いよいよ『春』に突入します。暖かな春。とても待ち遠しいですが、残念ながらまだまだ寒さは続きそうです。



ですが、この時期、何気なく周囲に眼を凝らすと「春」がすぐそこまで近づいていることが分かります。



左の写真は本校の桜の枝についた小さな小さなつぼみです。すでにたくさんのつぼみが春を待っているようです。桜の花の色は寒さと関係があり、冷え込みが厳しいほど春には見事な桜色になるそうです。今年の冬はかなり寒い冬となりました。その寒さに耐えた桜は、春を迎える頃、例年以上に色鮮やかに、元気に、力強く咲き誇ることでしょう。「さくらの学校」東小の春が楽しみです。

### ～節分とは～

節分とは本来、「季節を分ける」つまり季節が移り変わる節目を指し、立春・立夏・立秋・立冬それぞれの前日に、1年に4回あったものでした。ところが、日本では立春は1年のはじまりとして、とくに尊ばれたため、次第に節分といえば春の節分のみを指すようになっていったようです。

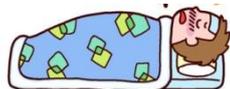


### ～立春とは～

立春とは1年間を24に分けたときの二十四節気の第1に当たります。

この二十四節気は太陽の角度(太陽黄経)によって決められています。

太陽黄経が315度のときが立春とされています。この立春から立夏までのことを『春』と呼びます。つまり言葉通り、『春が始まった第1日目』を意味しています。



## インフルエンザの流行に備えましょう!



市内の小中学校でもインフルエンザが流行し、学級閉鎖を行なった学校もあります。インフルエンザの全国的な流行は、例年11月下旬から12月上旬頃に始まり、年が明けて1月から3月頃にピークを迎えます。本県では例年1月から本格的な流行が始まり、以後患者数が急増して2月初旬から中旬にかけてピークに達する傾向にあります。今年もすでに1月9日には「インフルエンザ流行警報」が発表され、それ以降、報告件数は増え続け、平成18年の調査開始以降、最多の報告数となっており、昨年未からずっと警報レベルが続いています。

予防にはワクチン接種をはじめ、日頃からしっかりと休息やバランスのよい食事をとり、免疫力を維持することが重要です。また、飛沫や接触により感染が成立するため、外出先から帰宅した際の手洗いの励行やマスクなどによる「咳エチケット」の徹底なども有効です。残り少ない3学期の学校生活を充実させるためにも、ご家族ともども、予防に充分にご留意ください。(長崎県HPより参照・抜粋)

## 2月 行事予定

- 2月 1日(木) 学校保健委員会
- 4日(日) 市P連研究大会生月大会
- 7日(水) 入学説明会
- 8日(木) PTA役員選考委員会
- 14日(水) 東っ子を語ろう会
- 19日(月) クラブ活動(3年生見学)
- 20日(火) 授業参観・学級懇談会
- 26日(月) 委員会活動(反省・3年生参加)



## インフルエンザを追い出そう!

2月3日、節分では豆まきをして、自分の中の悪い鬼を追い出すと共に、手洗い・うがい等予防に努め、悪いインフルエンザウィルスもしっかり追い出したいものですね。

